

平成30年7月吉日

所属機関長 様  
九州各県医療ソーシャルワーカー協会 会員 各位

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会  
会 長 樋 口 美 智 子  
第55回九州医療ソーシャルワーカー研修会おきなわ大会  
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会創立30周年記念大会  
実行委員長 望 月 祥 子

第55回九州医療ソーシャルワーカー研修会おきなわ大会  
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会創立30周年記念大会

**開催のご案内 並びに 研究発表演題の募集のご案内**

謹啓

盛夏の候、貴会におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本年11月に開催を予定しております標記大会の開催準備にあたり、大会1日目の研究発表演題を九州各県に募集いたします。

本大会は、研究発表を4つのカテゴリーに分けます。その中から、各県より3演題以上をご発表くださいますようお願い申し上げます。

なお、発表形式は、口頭発表を予定しております。

ご多忙かとは存じますが、貴会職員の皆様方にご案内およびご応募いただきますよう重ねてお願い申し上げます。  
謹白

記

1. 大会日程 別紙「大会要綱」をご参照ください。
2. 募集演題数 各県演題、下記のカテゴリーから選択し、3演題以上  
カテゴリー1：地域連携  
カテゴリー2：業務改善  
カテゴリー3：入退院支援  
カテゴリー4：ソーシャルワーク実践
3. 締切 ◎発表申込：平成30年8月31日（金曜日）必着  
別添「研究発表演題申込書」ご使用ください。  
◎抄録提出：平成30年9月30日（日曜日）必着  
◎発表データ提出：平成30年10月31日（水曜日）必着
4. その他 詳細は別紙「研究発表原稿執筆要項」ご参照ください。

以上

平成30年7月吉日

所属機関長 様  
九州各県医療ソーシャルワーカー協会 会員 各位

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会  
会長 樋口美智子  
第55回九州医療ソーシャルワーカー研修会おきなわ大会  
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会創立30周年記念大会  
実行委員長 望月祥子

第55回九州医療ソーシャルワーカー研修会おきなわ大会  
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会創立30周年記念大会の開催について（お知らせ）

謹啓

盛夏の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、標記大会の概要が正式に決定いたしましたのでお知らせ申し上げます。

今後、大会内容の詳細決定を行い、あらためてご案内申し上げます予定でございますが、このお知らせをもちまして、貴会の職員の皆様方に事前にご案内、お知らせいただければ幸いです。

標記大会を成功させるべく邁進しておりますのでご高配の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

<各県協会様へのお願い>

大会1日目の「研究発表」の演題カテゴリーを基に、合計3題以上の発表をお願いいたします。

<お問合せ先>  
(大会事務局)

〒901-2492 沖縄県中頭郡中城村字伊集 208  
医療法人 かりゆし会 ハートライフ病院  
医療福祉相談室 高澤 信哉  
TEL : 098-895-3255 FAX 098-895-5685

## 第55回九州医療ソーシャルワーカー研修会おきなわ大会要綱

### 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会創立30周年記念大会

#### 《大会テーマ》

#### 『ソーシャルワークの<sup>ちむぐる</sup>肝心』

～今こそMSWのポジショニングを考える～

開催日 平成30年11月23日（金・祝）～24日（土）

会場 沖縄産業支援センター

〒901-0152 沖縄県那覇市字小禄1831番地1

主催 九州医療ソーシャルワーカー協議会

第55回九州医療ソーシャルワーカー研修会おきなわ大会実行委員会

（一般社団法人沖縄県医療ソーシャルワーカー協会）

#### <大会趣旨>

2025年に向けた「地域包括ケアシステム」構築への取り組みは、地域差はあるものの政策として具体性を帯びてきました。本年4月には診療報酬・介護報酬同時改定があり、医療と介護の連携や地域づくりに対する医療ソーシャルワーカーへの組織からの要請は益々大きくなり、それと比例して業務量も増大しています。

しかし、業務量の増大が視野を狭め、本来あるべきソーシャルワーク実践やソーシャルワークの目指す姿を見失ってしまう危険性を感じます。平均在院日数・在宅復帰率等の結果は一つの指標であり、患者さんやご家族の生活目標の実現（成果）を支援するプロセスが重要です。質の高い個別実践（プロセス）により真の成果は得られ、プロセスを軽視した結果は、継続性が失われ伝承されません。また、自らの実践や組織・地域の状況の何が目標実現に影響を与えたのか、全体を俯瞰してアセスメントできるのがソーシャルワーカーです。

沖縄の方言である<sup>ちむぐる</sup>肝心は、「人の心に宿る、より深い想い」という意味です。心の底から湧き出る相手を思いやる心を私は持っているだろうか。未来を見据え、ソーシャルワーカーとして自身のポジショニングを考える大切な時期にきていると考えます。

ソーシャルワークの価値と倫理に基づいた実践を行うために、ソーシャルワーカー個々の研鑽、仲間づくり、組織づくり、地域づくりにどのように取り組むか。今大会では、視野を広げ、プロセスやストーリーの大切さを学び、その上で専門性について考察し、これからの実践に資することを目的にします。

定員 250名  
参加費 6,000円

日程

開催日		平成30年11月23日(金・祝)～11月24日(土)	
日	時間	内容	
11月23日 金曜日	10:00～12:00	会議	九州医療ソーシャルワーカー協議会 九州医療ソーシャルワーカー協議会教育研修部会
	12:30～12:55	開会式	
	13:00～14:30	30周年記念講演	テーマ：「感動体験で自分が変わる！地域が変わる！ ～キムタカ！奇跡の舞台の裏舞台」 講師：平田 大一 氏 沖縄文化芸術振興アドバイザー
	15:15～17:00	研究発表	・カテゴリー1：地域連携 ・カテゴリー2：業務改善 ・カテゴリー3：入退院支援 ・カテゴリー4：ソーシャルワーク実践
	18:30～21:00	懇親会	
11月24日 土曜日	10:00～11:45	基調講演	テーマ：『現代日本社会における脱家族化とその帰結』 講師：安藤 由美 氏 琉球大学人文社会学部 人間社会学科 シンポジスト：土肥 尚浩 氏 (熊本県MSW協会会長) 樋口 美智子氏 (沖縄県MSW協会会長)
	11:45～13:00	<昼食休憩>	
	12:00～12:30	会長の部屋	
	13:00～15:00	ワークショップ	①「面接技術～初任者のための解決構築の面接技法」 講師：大垣 京子 氏 医療法人武田内科医療相談室長 日本医療ソーシャルワーク学会 会長 ②「医療連携マーケティング‘明日からできる’ノウハウ入門編」 講師：佐野 哲 氏 法政大学経営学部長 ③「価値に向き合いナラティブに考える臨床倫理 ～ソーシャルワークでの活用術～」 講師：金城 隆展 氏 琉球大学医学部附属病院 臨床倫理士・倫理コンサルタント ④「意思決定を支援する」 講師：植竹 日奈 氏 まつもと医療センター 医療ソーシャルワーカー
	15:00～15:30	閉会式	

※ワークショップは選択制となっております。会場の都合上、人数制限もございます。申し込み開始後、先着順となりますので、確認の上お申し込みください。

**記念講演：11月23日（金・祝）13：00～14：30**

テーマ：「感動体験で自分が変わる！地域が変わる！～キムタカ！奇跡の舞台の裏舞台」

講師：<sup>ひらた</sup>平田 <sup>だいいち</sup>大一氏



講師略歴：1968年、沖縄県八重山竹富町小浜島生まれ。大学在学中から、南島詩人として、また演出家として独自の舞台活動を展開。大学卒業後「小浜島キビ刈り援農塾」を主宰、文化を基調とした地域活性化を一生の仕事と決める。2001年「きむたかホール館長」、2005年「那覇市芸術監督」を歴任、2011年「沖縄県文化観光スポーツ部長」に大抜擢、公職経験を経た2013年から4年に渡り「(公財) 沖縄県文化振興会」理事長に就任、数々の事業成功を実現させ、2017年6月に退任。現在はフリーランスの「沖縄文化芸術振興アドバイザー」として世界と沖縄をつなぐ活動を展開中。「内閣府沖縄振興審議会」に在籍する一方で「くるちの杜100年プロジェクト」や「現代版組踊シリーズ」など、文化に軸足を置いた新たな地域活性化のモデルづくりのトップランナーとしても更なる挑戦を続ける。49歳。

講演内容：うるま市地域の青少年が演じる舞台『現代版組踊 肝高の阿麻和利』を手掛けたり、平均年齢84歳の超スーパーローカルアイドル『KGB84』（通称「小浜島ばあちゃん合唱団」）を生み出したり、ユニークでインパクトのある人材育成や地域活性化のモデルケースを次々と発信するソーシャルアントレプレナー（社会起業家）平田大一氏による感動講演会。笛、太鼓、舞まで飛び出る八面六臂な活躍に乞うご期待下さい！仲間づくり・組織づくり・地域づくりのヒントがきっと見つけれられるはず！

**基調講演：11月24日（土）10：00～11：45**

テーマ：「現代日本社会における脱家族化とその帰結」

講師：<sup>あんどう</sup>安藤 <sup>よしみ</sup>由美氏



講師略歴：  
東京都出身  
早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学  
現職 琉球大学人文社会学部教授  
主要業績：  
『「若者と親」の社会学』（共著、青弓社、2010年）  
『沖縄の社会構造と意識』（共編著、九州大学出版会、2012年）  
『持続と変容の沖縄社会』（共編著、ミネルヴァ書房、2014年）  
『変容する社会と社会学』（共著、学文社、2017年）

講演内容：家族の個人化あるいは脱家族化（未婚化、単身世帯化など）が急速に進行しているとされる近年の日本において、その変化の来し方と行く末はどのようなものなのか。本報告では、制度、関係性（様々なダイアド：夫婦、親子、きょうだい、祖父母と孫等）に焦点をあてながら、個人の人生時間（ライフコース）、家族の時間（ファミリーサイクル）、歴史の時間といった複合的な時間軸の中で、家族の変化を実証的に明らかにしたい。そのことを通して、ケアをめぐる家族とその外部システム（保健や福祉にかかわる制度、あるいは市場）との機能分担がどのように変わりつつあるのかという問題についても迫ってみたい。

## ワークショップ：11月24日（土）13：00～15：00

### ワークショップ①

テーマ：「面接技術～初任者のための解決構築の面接技法」

講師：<sup>おおがき</sup>大垣 <sup>きしうこ</sup>京子氏（医療法人武田内科医療相談室長 日本医療ソーシャルワーク学会会長）

内容：あなたは意図的な面接が行えていますか？解決構築技法（ソリューションフォーカストアプローチ）は従来の「問題解決」に焦点をあてるのではなく、「解決後の生活」に焦点を当てた面接技法です。過去の問題や短所ではなく、クライアントが望む未来と長所に目を向けた解決技法を一緒に学んでみませんか？

参加資格：経験年数5年未満の方

### ワークショップ②

テーマ：『医療連携マーケティング～「明日からできる」ノウハウ入門編』

講師：<sup>さの</sup>佐野 <sup>てつ</sup>哲氏（法政大学経営学部長）

内容：マーケティングは「ガツガツした営業活動」などではありません。そんな「営業などしなくても、顧客や利用者が自然と集まる、情報分析・組織づくり・仕組みづくり」。これがマーケティングです。医療ソーシャルワーカーの地域医療連携活動を想定して経営学理論をアレンジし、分析ノウハウ及び文書フォーマットを用いたグループワークを行いながら、「マーケティングの考え方とエッセンス」について学び、体験して頂きます。

### ワークショップ③

テーマ：「価値に向き合いナラティブに考える臨床倫理～ソーシャルワークでの活用術～」

講師：<sup>きんじょう</sup>金城 <sup>たかつぶ</sup>隆展氏（琉球大学医学部附属病院 臨床倫理士・倫理コンサルタント）

内容：私たちは実践の中でたくさんの選択を重ねています。「どう考えたらよいのか」と悩み迷った時に、立ちどまって考える「臨床倫理」「医療倫理」を学ぶ機会を準備しました。倫理的判断とは？チームの中で専門職倫理をどうやって実践する？ソーシャルワーカーが大事にしたいことを思い出せる時間になると思います。ぜひ一緒に学びましょう。

### ワークショップ④

テーマ：「意思決定を支援する」

講師：<sup>うゑたけ</sup>植竹 <sup>ひな</sup>日奈氏（まつもと医療センター 医療ソーシャルワーカー）

内容：昨今、意思決定支援の重要性が叫ばれていますが、あなたが今している支援は本当の意思決定支援になっていますか？このワークショップでは、本当の意思決定支援の意味と支援に携わるMSWの役割について一緒に検討していきたいと思ひます。

第55回九州医療ソーシャルワーカー研修会おきなわ大会

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会創立30周年記念大会

研究発表演題申込書

申込締切：平成30年8月31日（金）必着

申 込 先：沖縄医療生活協同組合 沖縄協同病院

地域連携課 MSW 長 原野 宛

FAX（098）853-1235

研究発表演題申込書

題 名	(仮題可)			
発 表 者	ふりがな			
	氏 名			
	職 種	MSW・PSW・施設相談員・介護支援専門員・その他 ( )		
所 属	ふりがな			
	施設/機関/ 事業所名	(所属部署名： ) 肩書き・職名 ( )		
		主たる業務の領域	高度急性期・急性期・回復期・地域包括ケア・療養型・介護老人保健施設・その他 ( )	
	住 所	〒		
	連 絡 先	電話番号	( )	FAX 番号
Email				
発 表 内 容 の 要 旨	希 望 カ テ ゴ リ ー	カテゴリー1・カテゴリー2・カテゴリー3カテゴリー4 (開催要綱ご参照)		
	発表の要旨概要を簡潔にご記入ください。(注：抄録等大会誌に記載されるものではありません)			
そ の 他	使 用 予 定 機 器	使用予定あり (PowerPoint-Windows 版限定)・使用予定なし		
	通 信 欄			

(諸注意)

- \* 発表時間は1題10分、質疑応答5分を予定。
- \* 題名の変更やカテゴリーの変更がある場合は、必ずご連絡下さい。

第55回九州医療ソーシャルワーカー研修会おきなわ大会  
 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会創立30周年記念大会  
 ～研究発表抄録原稿作成要項～

1. 抄録作成上の留意点

- (1) テーマ 4分類されたカテゴリーの中からお選び下さい。(開催要綱ご参照)  
 (2) 作成ソフト マイクロソフト Word により作成願います。  
 (3) 原稿の構成 ①主題  
 ②(必要に応じ)副題  
 ③発表者  
 ④(必要に応じ)共同研究者  
 ⑤発表内容  
 (4) ページ数 1演題あたりA4用紙1枚といたします。  
 (5) 文字のスタイル 文字は全てMS明朝体とします。(例)  
 (6) 文字の大きさ 主題:14ポイント  
 副題:12ポイント  
 その他:10.5ポイント  
 (7) ページ設定 2段組、22文字×42行  
 上下余白:25mm、左右余白:25mm  
 (8) 発表時間 1演題あたり10分、質疑応答5分  
 (9) 使用機器 パソコン使用によるウィンドウズPowerPoint  
 \*スライド、OHP、ビデオ等是对应できませんのでご了承下さい。



【ご参考】～本文の構成～

- ①はじめに(研究目的):事例や研究に関連した社会情勢や周辺領域に関する動向等  
 ②事例紹介(研究(調査)方法):事例の場合はケース概要が分かるようプロフィール等の説明を行う。  
 研究(調査)の場合は対象、内容、時期、実施方法などを説明。図表の活用。  
 ③経過(研究(調査)結果):分かりやすいようポイントを列記。研究(調査)の場合は集計結果等を記載。  
 ④考察:結果を受けて筆者なりに考察する。  
 ⑤おわりに(まとめ):今後この発表をどのように展開していきたいか等。  
 ⑥文献:参考とした文献、引用した文献等を明記。文字を本文より1ポイント程度落とすと良い。

2. 申込提出の締切・方法・宛先

	申込提出締切(厳守)	申込提出方法
演題発表 申込	平成30年 8月31日(金曜日) *各県協会にてお取りまとめ下さい	①FAXによる申込 ②申込書の郵送による申込
抄録	平成30年 9月30日(日曜日) *大会誌印刷の都合上締切厳守願います	①メール送信による提出
発表 データ	平成30年10月31日(水曜日) *ウィンドウズPowerPointのみ可	①メール送信による提出 ②CD等記憶媒体の郵送による提出
<p>【申込提出先】 沖縄医療生活協同組合 沖縄協同病院 地域連携課 MSW 長原野 宛                  〒900-8558 沖縄県那覇市古波蔵4丁目10番55号                  電話(098)911-5176 FAX(098)853-1235                  Mail: okihp94@oki-kyo01.jp                  データ送付についてもご不明な点は、上記にお問い合わせください。</p>		

3. ご質問・お問い合わせ・ご意見等の連絡先

おきなわ大会実行委員会 事務局 高澤 信哉 〒901-2492 沖縄県中頭郡中城村字伊集 208 医療法人かりゆし会 ハートライフ病院 医療福祉相談室 TEL: 098-895-3255 FAX 098-895-5685
---